

トルコ為替週報

2023年5月31日 | みずほ銀行欧州資金部

トルコ為替週報

<過去1週間の動き>

(5月23日～5月30日)

USD/TRY: 19.8122～20.4254

TRY/JPY: 6.81～7.04 (参照値)

過去1週間のトルコ・リラ相場は大幅に下落。とりわけ週末の5月28日に行われた大統領選挙の決選投票に下落が加速しているが、これは選挙結果自体に対する市場の反応というよりも、選挙前にリラの下落を抑えるために行われていたと見られる為替介入やオフショア市場へのリラの流動性供給の抑制などの政策が徐々に緩和されつつあることを反映しているだろう。

決選投票では、現職のエルドアン大統領が52.18%を得て勝利宣言を行っている。野党候補のクルチダルオール氏は47.82%の得票だった。5月14日に大統領選挙（第一回投票）と共に実施された議会選挙では、与党・公正発展党（AKP）を中心とする連立である「人民同盟」が議席の過半数を獲得している。大統領選挙・議会選挙ともに与党側が勝利し、現在の政治体制が継続する結果となった。

<過去1週間に発表された主要経済指標等>

月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
5/25	12:00	政策金利発表		8.5%	8.5%	8.5%
5/26	09:00	外国人観光客数(前年比)	4月		29%	12.3%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

<向こう1週間の見通し>

(5月31日～6月5日)

USD/TRY: 20.00～22.00

TRY/JPY: 6.00～7.10

来週1週間のトルコ・リラ相場は大統領選挙の決着が着いた今、一段と下落圧力が強まる公算が大きい。選挙前にリラの下落を抑えるために行われていたと見られる為替介入やオフショア市場へのリラの流動性供給の抑制などの政策は継続が困難だと見られるためだ。リラの下落ペースが速まるなか、トルコ政府は市場からの圧力に迫られる形である程度、オーソドックスな形の金融・財政政策に回帰する姿勢を示す公算が大きいと見ている。とりわけ、トルコ中銀による金融引き締めや、信用拡張に依存した政策の転換が行われるかが重要である。選挙後、誰が金融・財政政策の司令塔を担うのかがまずは焦点となろう。ブルームバーグはトルコ政府関係者の発言として、エルドアン大統領が6月2日までに経済閣僚を発表する見通しだと報じている。市場の評価の高いシムシェキ元財務相らの名前が取り沙汰されている。

ただし、短期金利市場では2023年末までに現在8.50%の政策金利が20%超の水準まで引き上げられる織り込みとなっているが、これが実現する可能性は低いだろう。おそらく7～8%ポイントの引き上げと、リラの流動性供給の抑制や、両替規制などによってリラの下落圧力を抑えようとする折衷策が取られるように思われる。こうした政策の組み合わせでも、トルコ当局はリラの下落をある程度容認する必要があると見られるが、対ドル22程度（大統領選挙の第一回投票の前の19.5の水準からは11%の下落）で留まると見ている。トルコ政府がオーソドックスな形で政策運営に回帰する姿勢をはっきりと示すことができれば、リラが失地を回復する余地はあるだろう。

リスクシナリオとしては、エルドアン政権が大統領・議会選挙で勝利したことを受けて、現在の低金利・信用拡張政策に対する自信を深め、一切の政策的な妥協を許さない強硬な姿勢を市場に対して示すケースが挙げられる。とりわけ、現在8.50%のトルコ中銀の政策金利が一切引き上げられなければ、通貨危機発生への懸念が高まることは避けられないだろう。2024年3月に地方選挙を控えるなか、低金利・信用拡張政策を現政権が続けるインセンティブは強いと見られ、こうしたリスクシナリオへの警戒も一定程度、必要となろう。

<向こう1週間に発表予定の主要経済指標等>

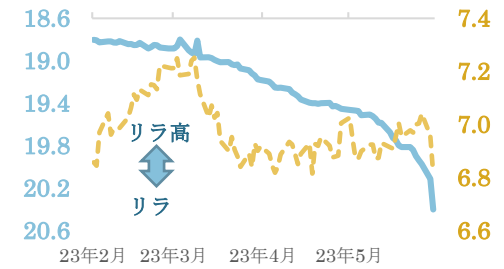
月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
5/30	08:00	貿易収支(10億ドル)	4月	-8.80b	-8.74b	-8.34b
5/31	08:00	実質GDP(前年比)	Q1	3.5%		3.5%
6/1	08:00	製造業PMI	5月			51.5
6/5	08:00	CPI(前年比)	5月			43.68%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

トルコ・リラの推移

実線: 対ドルレート(左軸、逆目盛)

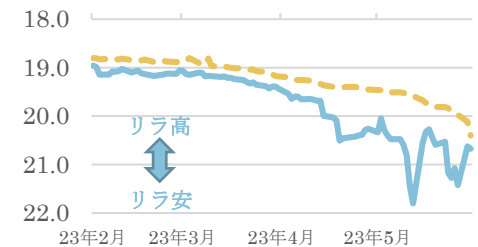
点線: 対円レート(右軸)



トルコ・リラの対ドル取引レート

点線: インターバンクレート

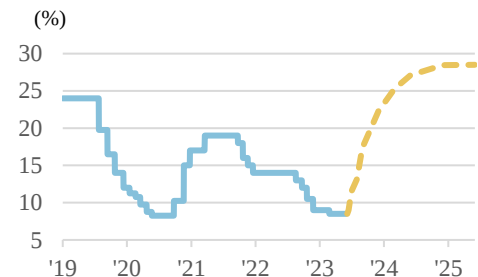
実線: グランド・パザールでの交換レート



トルコ中央銀行 1週間レポレート

実線: 実績

点線: 市場の織り込み(*)



* 市場の織り込みは、OISスワップカーブから求めた。
2023年5月30日時点。

(資料: ブルームバーグ)

<文責>

欧州資金部

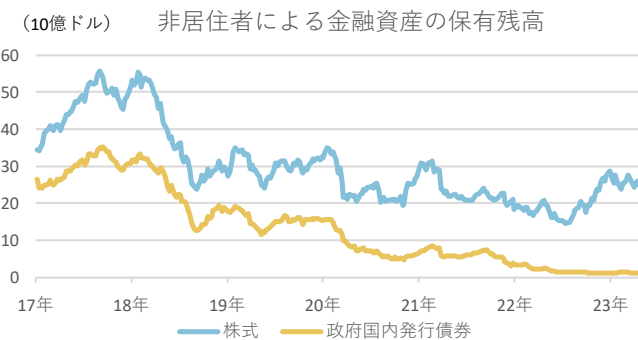
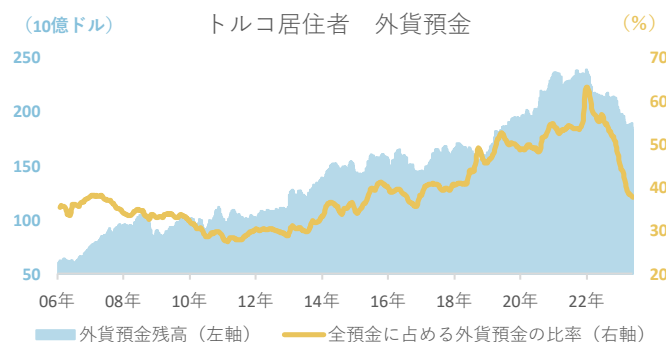
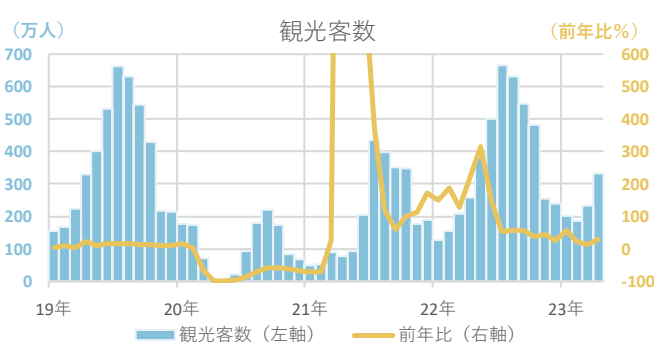
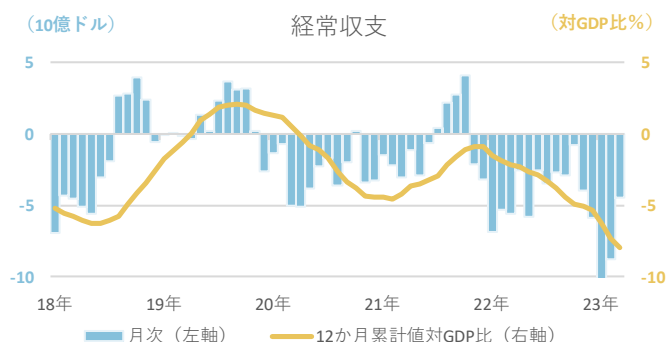
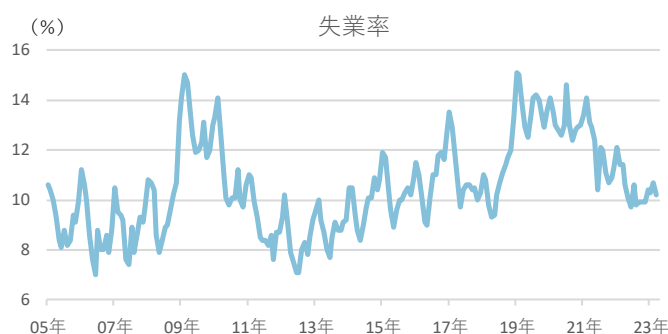
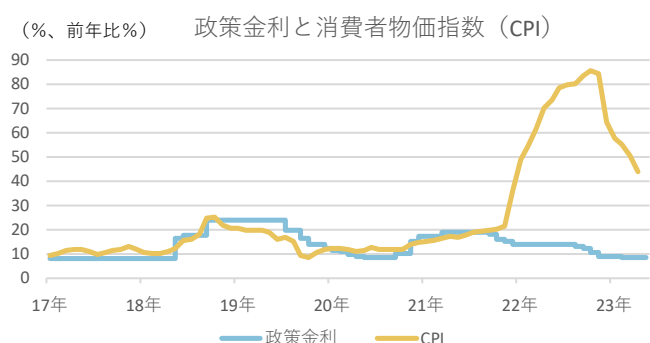
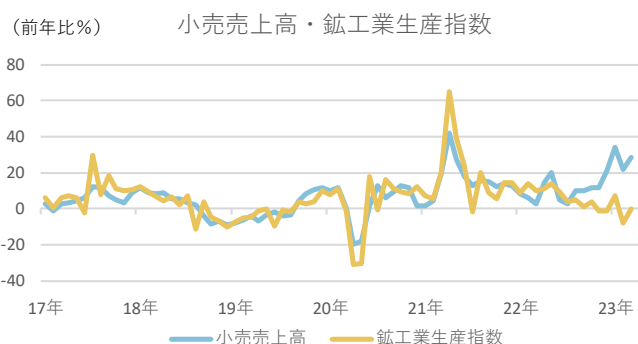
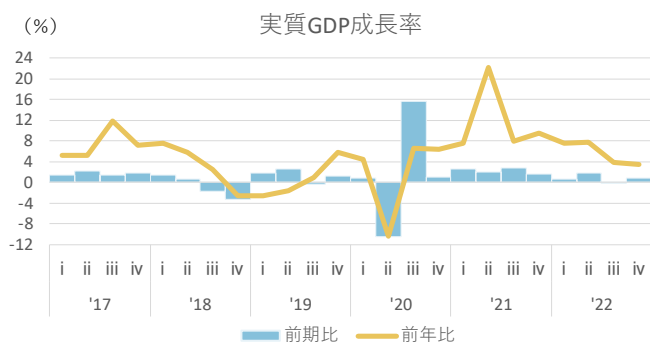
シニア為替ストラテジスト

中島 将行

masayuki.nakajima@mhcb.co.uk

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

<主要経済指標の推移>



(資料：トルコ中央銀行/トルコ統計局/ブルームバーグ/みずほ銀行)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。